

「楽しく」「わかりやすく」「面白く」地球環境の将来を語り合うタベ

第 2 回 エネルギー問題と地球温暖化は、これからどうなるの？

主催：公益社団法人日本技術士会中部本部愛知県支部

日時：平成 30 年 6 月 12 日(火) 19:00～20:30

場所：名古屋学院大学日比野学舎、7 階 701 号室

(地下鉄 日比野駅 5 番出口 すぐ)

会費：1,000 円

講師：西本テツオ (技術士：環境、建設、総合技術監理、衛生工学、農業、応用理学部門)

内容

No	項目	内容
1	はじめに	今朝のニュースで「地球温暖化対策で世界的に火力発電の縮小が見込まれ、大手メーカーが事業を見直す動きが広がっている。」と伝えていました。パリ協定以後、活発な世の中の動きを肌で感じます。 今回の『語り合うタベ』のねらいは、「地球温暖化・気候変動問題を、引いて見てみましょう」です。問題の、全体像を押さえます。
2	地球温暖化・気候変動とは	気候変動の原因であるミランコビッチサイクルや、ダンスガード・オシュガーサイクルってどんなことなのでしょう。さらに、日本の科学者達が、気候変動の謎の解明に挑む物語を紹介します。 パリ協定の科学的裏付け資料である、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第 5 次評価報告書(AR5)の構成、最初にどの報告書を見れば良いのか、この発表準備を例に紹介します。
3	気候変動枠組条約 京都議定書とパリ協定は、どちらがうの？	昨年、トランプ大統領はパリ協定からの脱退を表明しましたが、4月に Apple は、再生可能エネルギーで自社の電力を 100%調達していると発表しました。地球温暖化への対応について、「ゲームチェンジ」が起こったと言われています。 パリ協定が画期的であると言われる理由を見ます。さらに、京都議定書では、日本はどう着地したのかを見ます。
4	国の動き、企業の動き	パリ協定を踏まえた、我が国の長期低炭素ビジョンと新・エネルギー基本計画の基本方針を紹介します。 さらに、企業が、気候変動を社会の安定や事業活動を脅かす、深刻なリスクと捉えていることを見ます。
5	気候変動にまつわるトピックス・コラム	今回の『語り合うタベ』のため準備をしていると、ウェブ上には、当事者のインタビュー動画やアニメーション・グラフなど、テーマにまつわる魅力的で分かりやすい資料で溢れていることを、再認識しました。 私の好みで収集した資料を、いくつか紹介します。